

第1回 小平市公共施設マネジメント推進委員会（会議要旨）

日時	令和5年9月20日（水）	午後1時30分～午後3時10分
場所	WEB会議（ZOOM）	
出席者	推進委員 7人（木村俊介委員長、齋藤啓子副委員長、天米一志委員、岡部明子委員、木村徳次委員、鈴木由佳委員、水島謙司委員）	
	出席課 8人（相澤財務担当部長、濱本公共施設マネジメント課長、同桃井課長補佐、同横山課長補佐、同小林担当係長、同比留間主任、後藤施設更新担当課長、足助教育総務課施設更新担当係長）	
欠席者	なし	
傍聴者	2人	
配布資料	資料1	小平市公共施設マネジメント推進委員会設置要綱
	資料2	小平第十一小学校等複合施設の整備に関する基本設計方針骨子案
	資料3	（仮称）小平第十三小学校等複合施設の整備に関する基本計画 骨子案
	参考資料1	中央エリアの整備に関するオープンハウスチラシ
	参考資料2	中央エリアの整備に関するアンケートチラシ

1 開会

2 はじめに

(1) 委員自己紹介

委員の改選があったため、自己紹介をした。

(2) 事務局紹介

委員の改選があったため、自己紹介、体制紹介をした。

(3) 委員長・副委員長選出

小平市公共施設マネジメント推進委員会設置要綱により、委員長と副委員長を委員の互選により選出。委員長を木村俊介委員、副委員長を齋藤啓子委員とする。

3 小平市公共施設マネジメント推進委員会の運営について

資料1の概要を説明した。

質疑なし。

4 小平市公共施設マネジメント推進計画について

小平市公共施設マネジメント推進計画（以下、推進計画）の概要、中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の更新等に関する基本計画 小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備基本計画の一部を説明した。

質疑なし。

5 学校更新事業

(1) 小平第十一小学校等複合施設の整備に関する基本設計方針 骨子案

資料2の概要を説明した。

委員長：十一小の学区はしばらく児童数が増加するようだが、その後減少を迎える。一度建設すると後戻りができない中で、将来的な耐用年数や児童数の見通しを踏まえて、どのような最適規模を設定し

ているのか。また、一方で、面積縮減をすることと別の要素で、オープンスペースやICT活用など、学習環境の観点から、むしろ面積を拡大させる方向に考えていく必要もあると思うが、縮減と拡大の双方の要素があるとすれば、それを組み合わせた結果、最終的な最適規模はどのような程度となるのか。

公共施設マネジメント課：教育環境の整備という観点に関しては、文部科学省から示されている「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」の中で、主体的、対話的で深い学びの実現が示されている。これを実施するためにオープンスクール、オープンスペースが例示されている。これが面積にとって拡大の要因に働くが、教育環境を良くしていくために必要な視点と捉えている。一方で、公共施設マネジメントの推進という意味においては、オープンスペースについても、効率的なものとする工夫は、今後設計の段階で進めていくが、十一小、十三小共に設計の前段階となるため、規模感をこの時点で数値として示すことは困難である。

学校施設の面積の縮減という観点については、学校の適正な規模を維持するために、最終的には学校の統合を視野に入れる必要がある。推進計画でも、小学校5校、中学校1校を縮減するという将来構想を示しており、面積の縮減の大きな要素を占めると捉えている。また、（仮称）地区交流センターを学校に複合化する地域コミュニティ施設については、既存の公民館・地域センターを合わせて29施設あるものを、概ね14施設に集約していくという中で、効率化を図っていくという流れを想定している。

委員：十一小でプールを整備しないこと、東部公園に新設されるプールを使うとあったが、この時系列は。

施設更新担当：東部公園のプールについては、他の部署で再整備に向けた検討を進めており、十一小の基本設計を進めている時期に、東部公園プールの再整備も併せて進められていく。基本的には、東部公園のプールが再整備された後に十一小のプールの授業での活用を考えており、東部公園プールの再整備中は現行の十一小プールなどを活用する予定である。

委員：十一小は災害時避難所となると思うが、十一小に限らず、市として大規模災害が発生した際に避難所としての機能は何日間保たせる予定で、どのような市民、どの程度の規模感の受け入れ想定としているか。

施設更新担当：既存の十一小で避難所として受け入れる想定人数は、1,030人である。今後整備する十一小施設としても同程度の受け入れが可能となるよう整備を予定している。日数については各設備等による。

委員：電気面、例えば発電機を設けるなど、避難者の体調を配慮した環境を用意する予定はあるか。

施設更新担当：電気面に関しては、既存の施設でも整備されているが、自家用発電設備の設置を予定している。ただし、避難所となる場所への照明やコンセント、防災用無線への電源への給電を想定しており、冷暖房など健康面に配慮した環境配慮設備への給電は想定していない。今後整備される（仮称）地区交流センターについては、福祉避難所となると想定され、フォローが必要となる市民が利用される場合には、冷暖房についても検討していくこととしている。

委員：省エネ配慮としてZEB Readyを目指すと思ったが、目指すに至った経緯は。Nearly ZEBやZEBもあると思うが、今後の電気代高騰などが見込まれる中、省エネ、太陽光発電などの創エネを考えるとということだと思うが、なぜZEB Readyを目指すとしたのか。

施設更新担当：環境配慮の取組として第三次環境基本計画や、公共施設を建設する際の建築物のエコデザインの推進というものがあり、太陽光発電等設備の設置について定められている。その中でZEBの指針に着目し、様々な段階はあるが、現在の計画ではZEB Readyを目指すことを掲げている。ただし、この性能については、今後の予算に直結してくる内容であるため、設計を進めていく中で、全体的なバランスを見ながらどこまでできるか整理していく。

委員長：十一小にプールは整備しないというのは、市全体の方針か。今後の小中学校の更新では、プールを配置しないと決定したということか。

施設更新担当：学校のプール全体のあり方に関しては、今年度教育部で、検討を進めている最中で、今年度末までに一定の方向性を示す予定である。十一小については、東部公園のプール整備の方向性が示されていること、十一小の基本設計方針が進んでいることを踏まえ、他の学校に先駆けて方針を出した。

委員長：学校によってプールを置く学校、置かない学校が生じる可能性があるということか。

施設更新担当：学校によって自校プールを更新していくことが好ましいのか、拠点化していくことが好ましいのか、あるいは民間施設を利用したほうが好ましいのか、現在は総合的な調整をしている段階で

ある。

委員：推進計画25ページの、「基本的な検討手順」について、該当ページ内の図の基本計画の策定の横に破線で「事業手法の検討 PPP/PFI等」とある。この部分の意思決定はどのようなスケジュールでなされていくのか。

公共施設マネジメント課：基本計画を策定していく過程において、複合化等の方向性、制約条件、建物配置の方向性、跡地の方向性を示していくが、併せて事業手法についても検討していく。推進計画69ページに参考資料として掲載しているが、「公共施設マネジメント推進計画」に基づく基本計画策定における事業手法検討ガイドライン」を策定している。72ページにフローチャートを示しているが、一定規模以上の施設について、このフローチャートに従い、どのような手法が望ましいのか方向性を検討することとしている。ただし、全てがこのフローチャートによって機械的に決定するわけではなく、施設の性格、市の取組全体の中で総合的に判断していき、方向性を固めていく。

委員：最近の傾向として、PPP/PFI、民間の創意工夫を發揮させる予定として地方公共団体側で基本計画を策定しても、逆に民間の創意工夫を削いでしまうことがある。基本構想は策定するが基本計画は策定しないという手法が出てきている。あまり緻密な基本計画を作らない、民間の創意工夫の余地を残したのも出てきている。また、72ページのフローチャートでは「10億円以上」がスタートだが、3億円や2億円という基準も出てきている。小平市が決めた基準、フローチャートでは、行政が決めた範囲の中でしか民間の創意工夫が發揮できないのではと危惧した。

加えて、参考として、昨年度の文部科学省の補助事業で「ZEB小学校」というフルZEBの小学校を検討している事例もある。今回整備する際には、ZEB Readyは最低限とし、それ以上を求めていってほしい。

(2)(仮称)小平第十三小学校等複合施設の整備に関する基本計画 骨子案 資料3の概要を説明した。

委員長：十一小、十三小共に校舎面積は拡大とのことだが、施設の統合で面積の縮減を稼ぐので、統合の対象でない施設は拡大していくという印象を受ける。全体的には市の地域バランスが保たれた再整備となっていくのか。統合を進めつつ、市全体の施設の最適規模を見極めていくことが必要ではないか。

施設更新担当：十三小の基本計画策定にあたり、共通編と個別編を整理する。共通編は、基本的には地域格差が出ないような形を想定している。個別編では、地域の不均衡という意味ではなく、各学校の児童数の推計、敷地の広さなどの個別事情を勘案して整備するため、学校ごとの差異は生じるが児童1人当たりの学習環境として不均衡が生じるようなものを整備することは想定していない。

委員長：オープンスペースやICT活用など、面積が拡大する要素についての上限・制限がないのは問題だと思う。市としても拡大要素への上限定が必要ではないか。

施設更新担当：学校施設の面積拡大の一番の要因は、普通教室の規模だが、現在の20%縮減の基となっている教室等は現在の面積規模である。現在の普通教室の規模は、十一小は61㎡、十三小についても同規模が整備されている。現施設の普通教室の大きさは、一斉授業を軸に作り上げたものだが、今日の教育のあり方では、個々の教育に重きを置いており、児童一人一人への丁寧な指導の為、机間指導ができること、また、グループワークの必要性など、教育のあり方が変わってきていることから、普通教室の形態が現行通りでは不足する。国は81㎡と打ち出している。当市では状況を見定め72㎡を1つの標準としていきたい。オープンスペースは普通教室全体を大きくする方法、教室前を広げる方法など、様々な形態がある。規模感は財政面も考慮しながら進めていく。

委員：「小平第十一小学校等複合施設の整備に関する基本計画」（以下、十一小基本計画）31ページに、図書館の花小金井分室が閉館になると記載があるが、市民意見を聞いたうえでの決定なのか。

公共施設マネジメント課：十一小基本計画を策定する際に、花小金井北分室は廃止する計画案を説明し、様々な場で市民意見の聴取をしてきた。花小金井北分室が設置された当時より、大沼図書館が整備されたこと、近隣市との相互利用が始まったことなど、図書館環境が整備されてきた経緯があり、廃止への一定の理解をいただいていると認識している。

委員:小平市の基本理念で「いつまでもわくわくする場をみんなで創ろう」を掲げている。しかし、施設を増やしていくときはわくわくするが、面積で削減目標が定められたりするとなかなかわくわくしない。今回の主だった話は学校2校の件であり、統合を伴わない比較的易しい問題である。推進計画、個別計画に基づいて取組を進めていくこと、行政側が各種計画と実態との整合性を図っていると理解した。他方で、一つの成功例を他に当てはめていくことが正しいのか、それぞれ個別の事情がある為、そういった議論ができていくとよい。例えば、図書館花小金井北分室の廃止の話があったが、場合によっては小さい施設も残しておくことによってリスク分散が可能となることもある。複合化すると施設が大きくなり、その複合化施設の更新検討などの際に更に身動きが取れなくなる可能性もある。それぞれの個別ケースで、それぞれの委員の感覚を活かした方法で、公共施設マネジメントを議論できるとよい。学校プールに関しても、全体の方針を決めて個別に当てはめていくより、場合によっては実験的にいろいろと試行してみることで、相対的な公平性につながることもあるのではないかと。ぜひ小平市らしい、様々な実験ができる公共施設マネジメントができればうれしい。

委員:小平市は広い。小学生が長い時間をかけて登校していると聞く。学校の統合がされていくと通学区域や通学時間にも関わっていくと感じた。

委員:十一小の件で、どのような話し合いが行政、小学校、保護者、関係団体で行われ、どのような進捗で、どのような良かった点、課題が出たのかなどを、説明いただけるとよい。そうすることで市民目線、専門家、双方の意見が示されやすくなるのではないかと。例えば、学校に関しては、整備基準が決まっている「わかりやすい分野」と、統合されることによる「未知の分野」の両方がある。委員がより意見を発言できるよう、事業の進捗を認識するために、経緯等の説明をお願いしたい。

また、学童クラブについて、子どもの数は減るが学童クラブのニーズは高まると想定する。廃止する公共施設をすぐに売却や別の用途に使うのではなく、どう活用することが有益か、その地域の市民と話し合いができるとよい。

公共施設マネジメント課:十一小基本計画の末尾に参考資料として、市民との意見交換の経緯を公共施設マネジメントニュースにまとめて掲載している。この中で寄せられたもの以外でも、主に学校経営協議会を中心に、事業の進捗に合わせて意見交換をしてきた。公共施設マネジメントの取組における今後の公共施設は、原則複合化するという点について、公民館や地域センターの利用団体からは、課題解決への期待も感じているところである。サークル活動の参加者が増えず、後継者不足を抱える利用団体もあるが、学校と複合化することにより新たな市民に活動を見ていただき、交流が生まれ、将来的に活動が活発になることを期待する声も多く寄せられている。ハード面の統合だけでなく、ソフト面の交流、相乗効果も目指して取り組んでいく。

6 その他

参考資料1の概要を説明した。

次回は12月27日（水）14：00～web会議で開催予定。

7 閉会